

競技上の確認事項

大会競技委員長

1. 競技規則の確認

2019年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

2. 競技方法について

- (1) 男子の部12チーム、女子の部24チーム、男女混合の部4チームによる全試合3セットマッチのトーナメント方式で行う。
- (2) 1日目は男子がベスト4まで、女子はベスト8まで、男女混合は全試合行う。

3. チーム編成について

- (1) 競技者及びチームスタッフを変更する場合は所定の用紙を使用し、開会式開始までに競技委員長へ提出する。
- (2) 提出されたエントリー用紙は、変更届の提出がない限り全試合に適用し、途中変更は認められない。
- (3) 試合中、競技に入場できるのは、当日エントリーされた者のみとする。

4. 試合球について

男子、男女混合：モルテン 女子：ミカサ

5. 服装について

- (1) 選手のユニフォームは（ジャージ、パンツ、ソックス）は、形状、色、及びデザインをチームで統一する。
- (2) ユニフォームからはみ出すスパッツ、アンダーウェア等の着用は禁止する。
（冬季、暖房施設のない体育館での試合においては、選手の健康を考慮し、着用を許可する場合がある。）
- (3) 開会式・表彰式・閉会式への参加と服装については、統一された服装とする。但し、ベンチコート等の厚手の防寒具の着用は禁止する。

6. 試合進行について

- (1) 試合開始時刻は、プログラムに記載してある通り第1試合のみ設定し、第2試合以降は追い込みで行う。
- (2) 第2試合目以降は、前の試合が終了してから概ね5分後にプロトコールに入る。
- (3) 同一チームの試合が連続する場合は、前の試合が終了してから最大15分後にプロトコールに入る。
- (4) 試合の終了したチームは、速やかにベンチを空ける。
- (5) 試合終了後、チーム監督と主審・副審はフェアプレーの精神で「握手」を交わす。
- (6) 次の試合の審判にあたるチームは速やかに準備する。
- (7) 試合間の練習は、隣接コートの試合に支障をきたさない範囲で認める。ただし、ネットを使用しての練習は禁止する。
- (8) 空きコートの使用は、隣接コートの運営に支障がない場合は許可する。ただし、隣接コートの運営に支障があるときは、柔軟体操かボールを使用するならオーバーハンドかアンダーハンドパスに留める。
※ 豊橋市総合体育館の第2競技場は、該当の試合が全て終了次第閉鎖する。
- (9) 試合進行状況により、試合順やコートを変更する場合がある。

7. 試合中について

- (1) 監督、コーチ、マネージャーは、子どもの健全育成を目指す指導者としての自覚をもち、不適切な行為そのものはもちろん、誤解を招くような行為も厳に慎む。
- (2) 監督は、ボールデッド間に、立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができる。このことは、監督がみだりに立ち上がる行為を容認するものではない。また、ベンチスタッフが自然発生的に喜びの表現として偶発的に立ち上がる行為は許容範囲であるが、監督以外が、毎回のようには立ち上がったり、数歩前に出たりする行為は認められない。さらに、

監督が、選手とハイタッチをしたり、飛び跳ねたりする行為及び、相手を威嚇する行為も認められない。

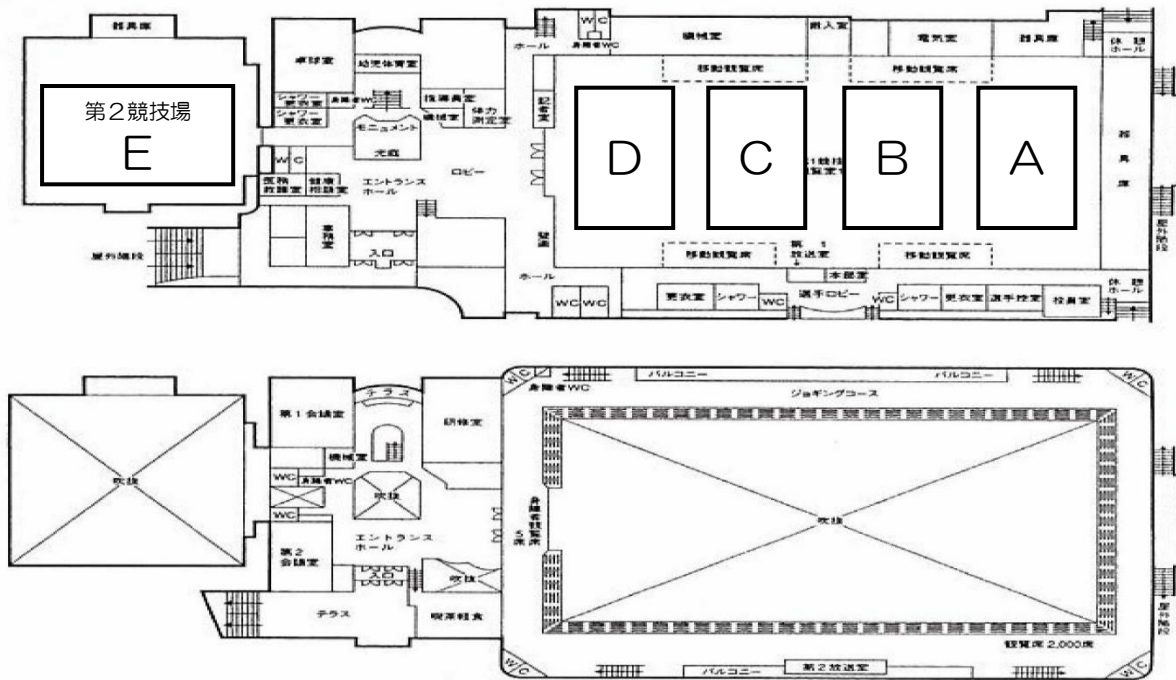
- (3) うちわ等については、セット間及びタイムアウト中のクールダウンに使用する場合のみベンチへの持ち込みを認める。
- (4) マスコット的な物（ぬいぐるみ、千羽鶴等）やメガホンの持ち込みを禁止する。
- (5) 水分を補給する場合は、ベンチ前で行い、水筒やペットボトルを直接床に置かない。
- (6) 携帯電話やトランシーバー、タブレット等の電子機器の使用は禁止する。

8. 応援マナーについて

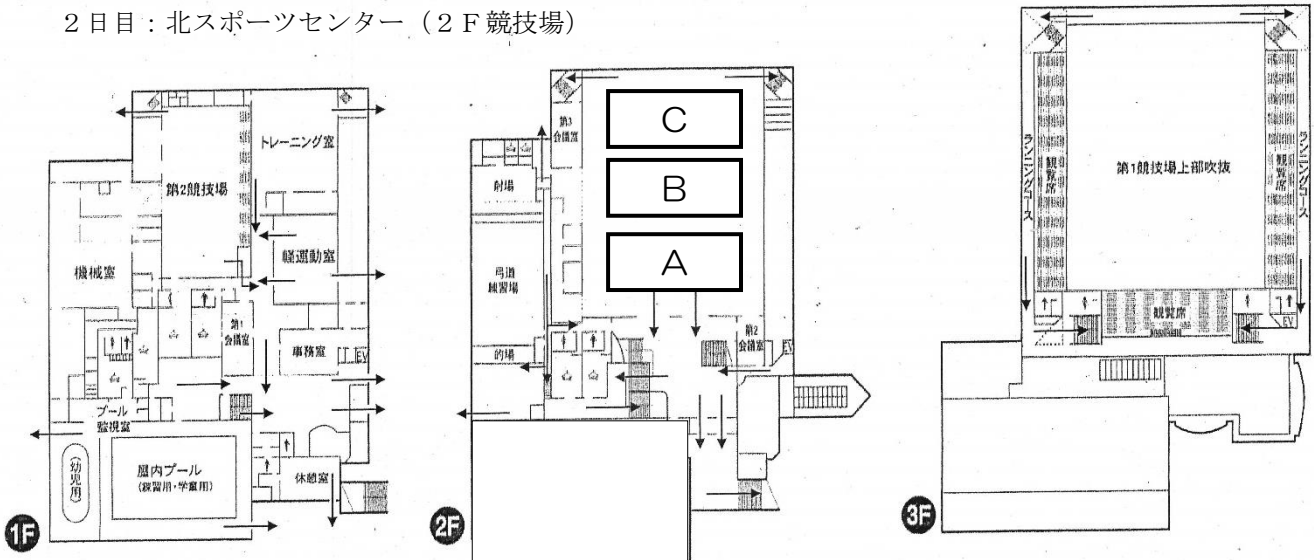
- (1) 応援マナーの厳守は、監督の責任において徹底させる。
- (2) 横断幕を掲出する際は、観覧者の視界を遮ることがないように、手摺の下部にひも等を使用する（ガムテープ等粘着性のあるテープの使用は禁止）
- (3) のぼりも横断幕に準じ、観覧席の最後部にひも等を使用して立てる。
- (4) 鳴り物の使用は禁止する。
- (5) いかなる場合であっても、施設及び付帯の設備等を叩きながらの応援は禁止する。
- (6) 観覧者の視界を遮ることがないように、また、安全面からも、立っての応援は禁止する
- (7) カメラなどのフラッシュ撮影は禁止する。

9. 競技コートについて

1 日目：豊橋市総合体育館



2 日目：北スポーツセンター（2F 競技場）



審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 選手の健康と安全に配慮して、テクニカルタイムアウトは、給水のためのタイムアウトとして適用し、選手に給水をさせなければならない。
2. タイムアウトの要求はハンドシグナルとともに言葉を用いて明確に示す。
3. 選手交代は、交代選手がコートに入る準備をしてサブスティチューションゾーンに入ることにより要求したことになる。また、複数の交代を同時に要求する場合は、すべての交代選手が同時にサブスティチューションゾーンに入らなければならない。
4. 試合中、ボールを使用する練習が認められるのは、セット間においてエンド・ライン後方のフリーゾーンのみとする。
5. 監督は、試合を妨害しない限り、フリーゾーン内ならばアタックラインの延長線からウォーム・アップ・エリアまでの範囲内において、一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えても良い。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。
6. 本大会は、ワン・ボール・システムで行う。したがって、速やかにサーバーへボールを送ること。
7. ワイピングについて
 - (1) 試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。
 - (2) 状況により、審判員の指示でラリー終了後、交代競技者(3名以内)が速やかにコートに入って拭くことを認める。
 - (3) 公式練習終了後、タイムアウト及び、セット間には、選手またはチームスタッフがモップを使用してコート内とサービス・ゾーンのワイピングを行う。
8. ベンチスタッフの服装について
 - (1) ベンチスタッフの服装は、ジャケット着用か競技者と同じウェアを着用する。また、役員全員が統一されたウェアを着用することも認められる。
 - (2) 試合中、左胸部に規定の監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれ着けなければならない。また、指導者資格を証明する証明書等を胸に下げておく。
 - (3) 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認めるがTシャツの色は他のベンチスタッフと同様の色とする。

9. チーム審判（主審・副審、ラインジャッジ・点示）について

- (1) 大会1日目については、該当チームから1名ずつ主審・副審を行う。
- (2) 服装は、試合時の服装に準じる。チーム名の入った吊り下げ名札を着用する。
- (3) 審判に必要な用具を準備する。（長短2種類の笛・筆記用具、時計用具）
- (4) ラインジャッジ（4名）と点示（2名）は各チームで行う。

大会1日目

【男子・女子】

	第1試合	第2試合以降
	該当コート第3試合目のチーム	該当コート直前の試合
主審	プログラム番号が前のチーム	負けチームから1名
副審	プログラム番号が後のチーム	勝ちチームから1名
ラインジャッジ 点示	両チームから3名ずつ	負けチームから6名

【男女混合】

- ・主審と副審、ラインジャッジ（4名）と点示（2名）は各チームで行う。
- ・該当コートの試合のない2チームから3名ずつ行う。
- ・プログラム番号が前のチームを主審、後のチームを副審とする。

大会2日目

【男子・女子】

- ・ラインジャッジ（4名）と点示（2名）は各チームで行う。
- ・該当コートの試合のない2チームから3名ずつ行う。

会場使用上の注意

大会総務委員長

1. 地震等の非常時に備え、各自非常口等避難経路の確認をしておいてください。
2. 大切な施設をお借りしています。施設の使用規定を厳守してください。
3. 帰る時には忘れ物のないように確認して、来た時よりもきれいにして帰るよう心掛けてください。
各自、各チームの責任の下、貴重品の管理には十分気をつけて置き引きに遭わないように注意してください。
4. 施設利用について
 - (1) 施設内は禁煙です。決められた場所で喫煙してください。
 - (2) 施設内のコンセントを使用することは一切禁止です。(ポット・ビデオ等)
 - (3) 施設内の無用な場所へ立ち入ったり、施設の付属する備品等で遊んだりしないようお願いいたします。施設の設備等破損した場合は自己負担で実費弁償となります。
 - (4) 館内での上履き・下履きの区別をし、トイレは必ずスリッパに履き替えてください。
 - (5) 履物は各チームで管理してビニール袋等に入れて、自分たちの席に持っていくようにしてください。
 - (6) 館内のロビーや通路でのウォーミングアップやボールの使用は禁止です。また、通行の妨げになるように集合したり、待機したりしないようにしてください。
 - (7) トイレは必ず綺麗に使用することを心掛けてください。
 - (8) 駐車場は、ほかの施設の利用者も駐車されます。身勝手な行動でほかの人に迷惑にならないようにし、自己責任で駐車してください。
 - (9) 館内での飲食は大会関係者の指示に従ってください。
5. ゴミは、各自、各チームで持ち帰ってください。(帰るとき必ず各チーム周辺のゴミや、飲料水等での汚れがないかの確認をしてお帰りください。) また、業者に弁当を頼まれたチームは引取りの確認を徹底し、施設内に放置しないでください。
6. その他【 各施設 】